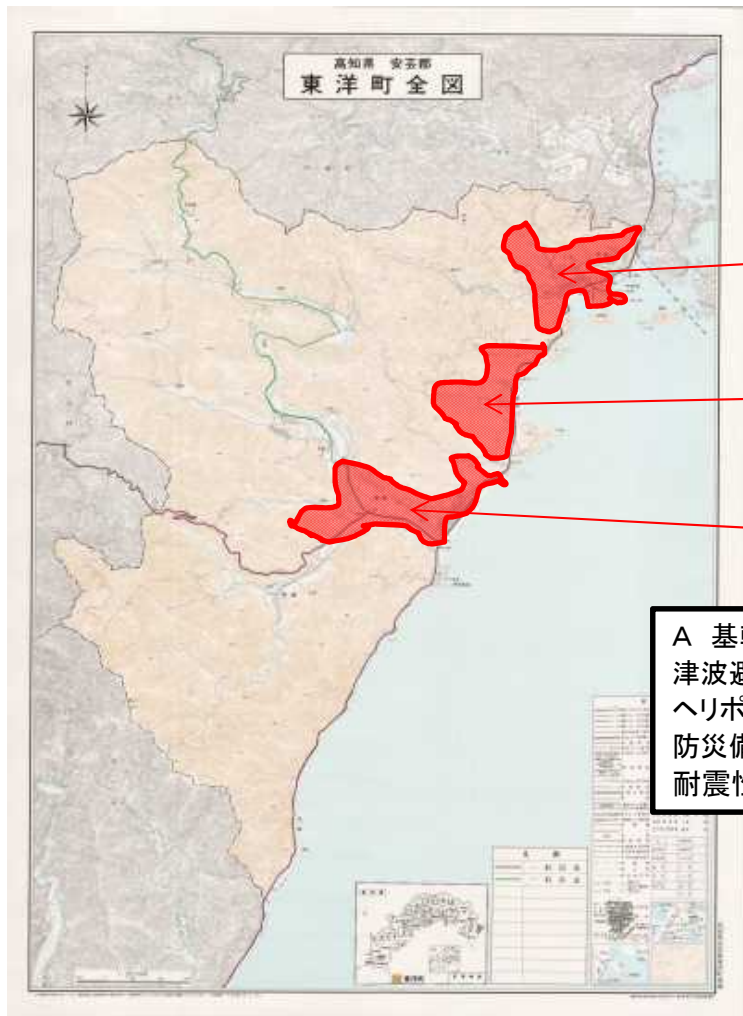
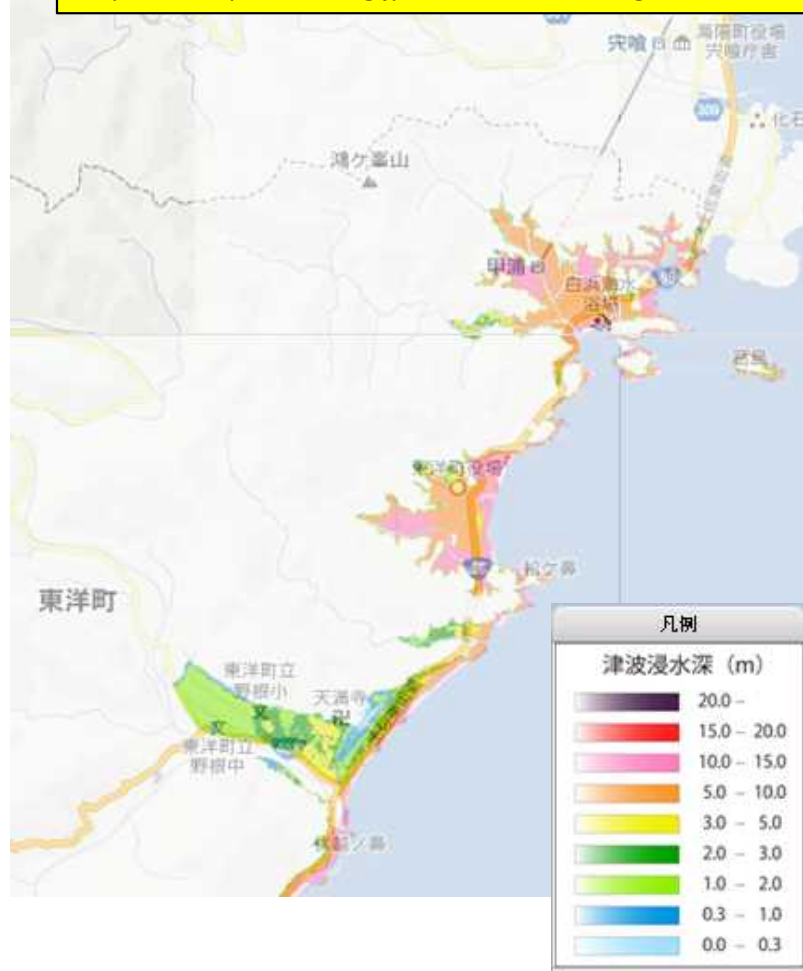


(参考様式3) 参考図面(防災・安全交付金)

計画の名称	東洋町災害に強いまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)		交付対象	東洋町
計画の期間	令和5年度～令和9年度(5年間)			

高知県南海地震被害想定結果

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/higaisoutei.html>



- A 基幹事業
- 津波避難路整備 N=3箇所
 - ヘリポート整備 N=1箇所
 - 防災備蓄倉庫整備 N=1箇所
 - 耐震性貯水槽整備 N=1箇所

(表紙)

計画名：東洋町災害に強いまちづくりの推進(第2期)(防災・安全)

都市防災事業計画

当初

高知県東洋町

令和5年1月

上段：変更前[当初、第△回変更](黒字)

下段：変更後[第○回変更](赤字)

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

(位置)

東洋町は、昭和34年7月1日、新市町村建設促進法に基づき、旧甲浦町と旧野根町との合併により発足した町であり、北緯33度31分27秒、東経134度17分1秒で、高知県の最東端に位置し、東西10km、南北14kmで、総面積は74.1km²におよび太平洋を一边とした三角形をなし、北は徳島県海陽町、南は室戸市、西は安芸郡北川村に囲まれた地域である。

(地勢)

野根地区の中央部を流れ太平洋に注いでいる野根川は、源を徳島県に発し、延長約30km、野根平野の広大な水田地帯に豊富な農業用水を供している。また、海岸線は景勝に富み生見海岸、白浜海岸等美しい砂浜を有し県下屈指の観光スポットとして知られている。さらに、天然の良港甲浦港は、沿岸漁業の基地となっている。集落は、甲浦内港、野根川下流に密集するほか、野根川、生見川、小池川、河内川の各河川沿いに点在している。

(事業地区の現況及び課題)

本町(甲浦・生見・野根)では、過去の南海地震による揺れや津波により多大な人的、物的被害を受けてきたが、特に沿岸の集落は津波による被害が甚大であった。平成24年8月29日に内閣府の有識者会議の発表を受けて、同年12月10日に高知県が発表した「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測」によると、最大震度7、最高津波高19mで30cmの津波の到達時間は早いところで8分後に到達すると予測され、人的被害は津波による死者は1000人で対策後も260人、建物被害は1800棟と想定されている。

現在、津波が来襲すると予想される甲浦・生見地区を中心に津波一時避難場所や避難経路の整備、防災倉庫、津波避難誘導標識や海拔表示板の設置、橋梁の耐震化、近くへ高台がない集落へは津波避難タワーの建設を進めてきたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、想定外の被害を防ぐために、これまで津波被害を想定していなかった野根地区も同様の整備を図らなければならない。

本町の基本集落の約90%は、海岸沿いに集中している。地域特性としては、高齢化が進行(高齢化率42%)し、また漁業集落特有の木造住宅が密集(昭和56年新耐震基準を満たしていない建物の割合:約58.8%)し、幅員の狭い道路で形成されていることから、非常に防災基盤が脆弱である。

さらに、地震津波により基本集落のほとんどが浸水するおそれもあり、崩壊や土砂崩れによる道路の寸断が予想され、町全体の孤立化も懸念される。

本町では、野根地区の山間部を除く、全地域を津波避難区域へ指定し、基本的には近く山へ津波避難場所を整備して、そこへ続く避難経路の整備や防災倉庫、津波避難誘導標識を設置と、近くに高台のない集落へは津波避難タワーの整備あるいは、住民の防災意識向上のために自主防災組織等の防災訓練や防災学習などを行い、地域防災力の向上を図ることのできる施設兼避難場所の建設が必要である。そこで、地区住民との防災学習、研修等を行い、災害時には、復旧応急活動の拠点施設として活用する施設の整備を実施する。それに併せて、自主防災組織の育成強化や防災講演会・昼夜の避難訓練の実施など継続的な防災教育の充実・強化に取り組んでいくことや住民意識の高まりを持続させる支援体制の充実も求められる。

また、災害時の応援・長期避難生活に備える救援物資の受入や急患の搬送体制を充実させるため大型ヘリコプターの緊急離発着場として防災拠点施設及び備蓄倉庫等の整備を実施してきたことから、主要道路からその施設に繋がる町道の整備を実施するとともに、住民を主体に災害時に備えた防災まちづくり方針を策定する必要がある。

【整備方針】

東洋町では、平成24年2月に津波避難計画を見直し、平成24年度内に高知県の津波避難計画のシミュレーションの想定される津波高が海拔20mまでとして想定し策定した。この策定見直しにより、従来海拔10m以上の高台を津波避難場所としてきたことに伴う見直しや既存の津波避難タワーについても、かさ上げは設計上無理なことから、既存の施設を活用した避難場所へと構築していくとともに、津波避難場所までの避難経路を確保していく。また、災害時の応援・長期避難生活に備える救援物資の受入や急患の搬送体制、地域の孤立に備えた備蓄倉庫や防災資機材等の整備や災害時発生火事から復旧・復興へ向けて情報伝達・防災機能を充実させるため防災拠点施設の整備を図る。地域の防災体制をも充実させるため、東日本大震災の教訓をふまえて、自主防災組織と協議して各地区の津波避難計画を策定や応急活動の体制を構築していく。

具体的な施策としては、

- ①近くに高台のない地区へ津波避難タワー及び津波避難場所の建設(甲浦・生見・野根地区)
- ②津波避難場所場までの避難経路整備(甲浦・生見・野根地区)
- ③救援、救援物資、急患の搬送体制を充実させるため防災拠点施設の整備(生見地区)
- ④災害時発生事から復旧・復興へ向けて情報伝達・防災機能を充実させるため防災拠点施設の整備(甲浦・生見・野根地区)
- ⑤災害時の避難所運営及び応急活動の拠点機能を想定した防災復旧活動用の資機材等の整備(甲浦・生見・野根地区)
- ⑥住民の防災意識向上のために自主防災組織等の防災訓練や防災学習などを行い、地域防災力の向上を図ることのできる施設兼避難場所の建設
- ⑦災害時に備えた防災まちづくりについての基本的な方針を策定する。
- ⑧被災後、住民の生命をつないでいくための貯水槽タンクの設置

(様式2)計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	東洋町	計画期間	令和5年度 ~ 令和9年度
担当部局名	総務課 防災係	担当者	(正) 森本 雄大	連絡先	TEL 0887-29-3111(内線) FAX 0887-29-3813 e-mail yuudai-morimoto@town.toyo.lg.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額		
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
地区公共施設等整備	地区公共	東洋町	甲浦地区 津波避難路整備 N=3箇所 W=1.5m L=281m	7.1ha	令和5年度	令和7年度	1/2 用地1/3	24	12
			生見地区 耐震性貯水槽整備 N=1箇所	5.0ha	令和9年度	令和9年度	1/2 用地1/3	80	40
			野根地区 ヘリポート整備 N=1箇所	7.0ha	令和7年度	令和7年度	1/2 用地1/3	30	15
			野根地区 防災備蓄倉庫整備 N=1箇所	7.0ha	令和8年度	令和8年度	1/2 用地1/3	50	25
合計								184	92

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

下段:変更後【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]					
							令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
地区公共施設等整備	地区公共	東洋町	甲浦地区	津波避難路整備 N=3箇所 W=1.5m L=281m	×	1/2 用地1/3	2.5	2	7.5			12
			生見地区	耐震性貯水槽整備 N=1箇所	×	1/2 用地1/3					40	40
			野根地区	ヘリポート整備 N=1箇所	×	1/2 用地1/3			15			15
			野根地区	防災備蓄倉庫整備 N=1箇所	×	1/2 用地1/3				25		25
合計						2.5	2	22.5	25	40	92	

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
甲浦地区	津波避難路整備 N=3箇所 W=1.5m L=281m	用地以外	1/2	2.5	2	7.5			12
生見地区	耐震性貯水槽整備 N=1箇所	用地以外	1/2					40	40
野根地区	へりボート整備 N=1箇所	用地以外	1/2			15			15
	防災備蓄倉庫整備 N=1箇所	用地以外	1/2				25		25
合計				2.5	2	22.5	25	40	92

○用地取得面積

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【m2単位】

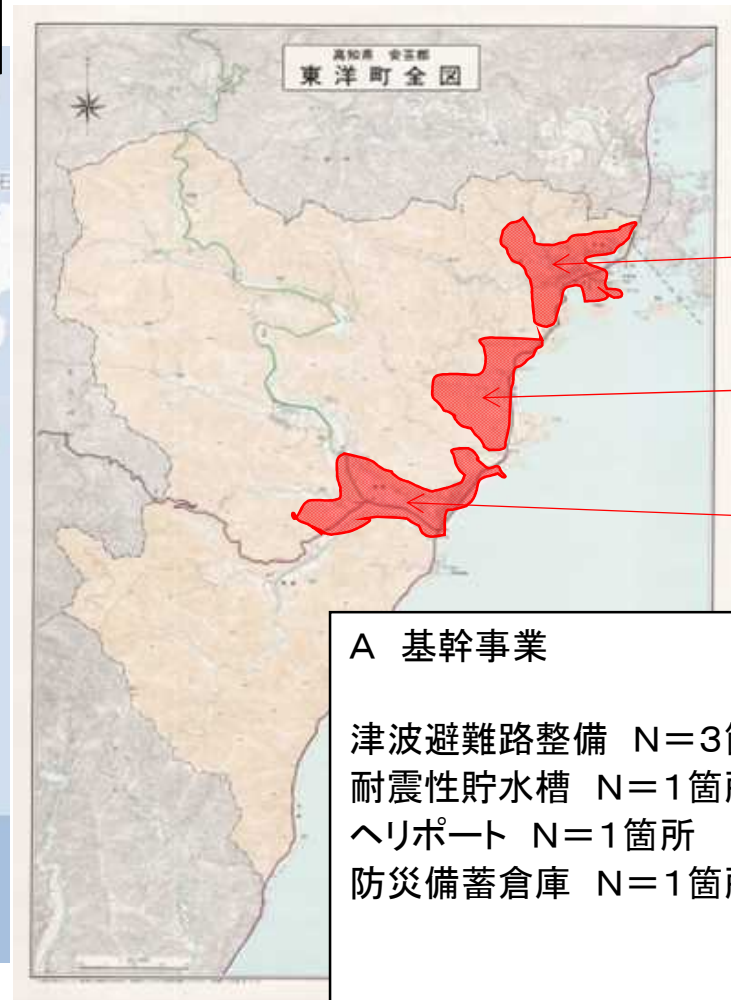
事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
		用地	1/3						

(様式6) 現況図 等(1/4)

地区名	甲浦地区他2地区	面積	19.1ha	区域	高知県東洋町 ^{トウヨウチョウ}
-----	----------	----	--------	----	---------------------------

高知県南海地震被害想定結果

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/higaisoutei.html>



①^{カンノウラ}甲浦地区 (7.1ha)

②^{イクミ}生見地区 (5.0ha)

②^{ノネチク}野根地区 (7.0ha)

A 基幹事業

津波避難路整備 N=3箇所

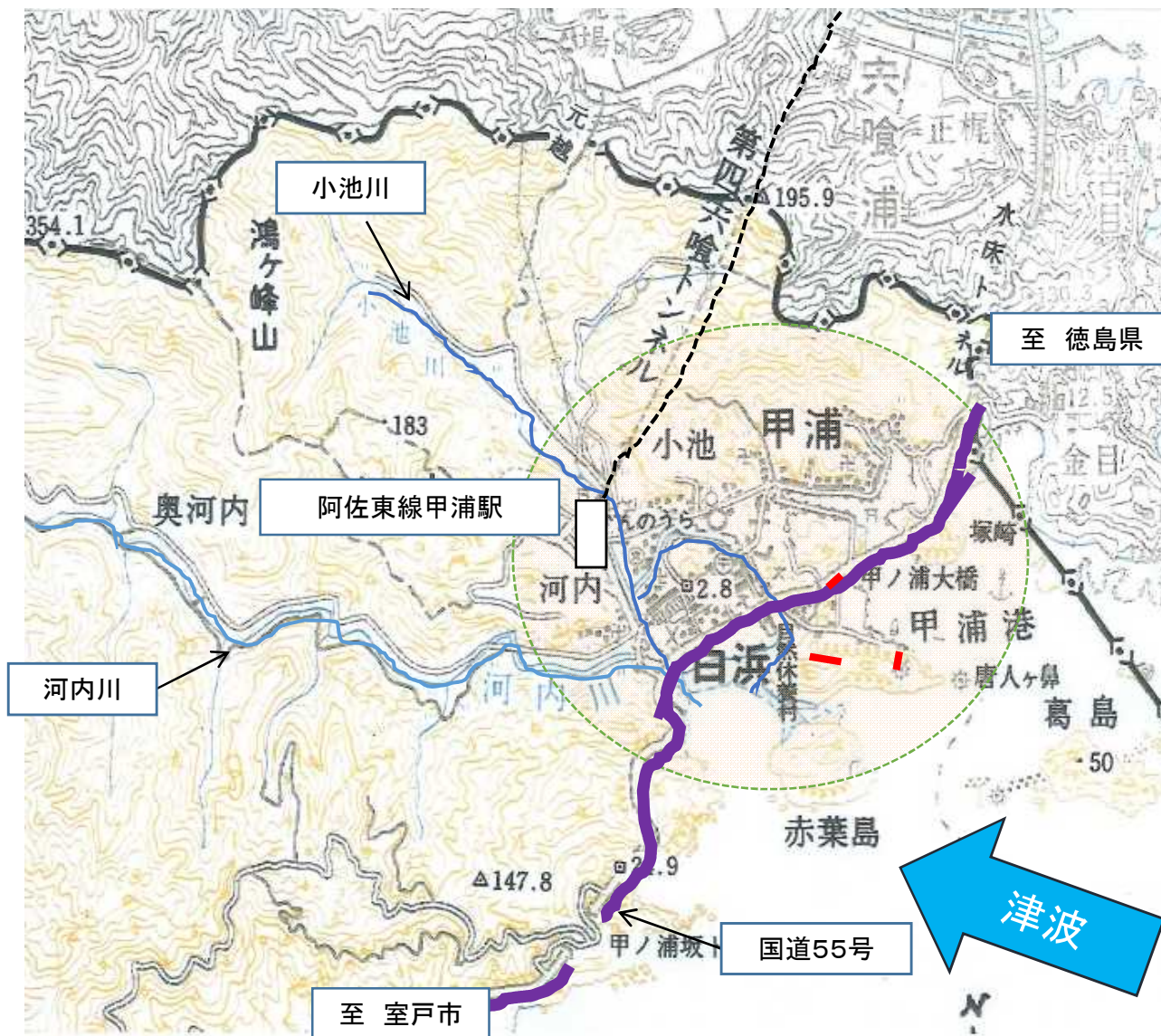
耐震性貯水槽 N=1箇所

ヘリポート N=1箇所

防災備蓄倉庫 N=1箇所

(様式6) 現況図 等(2/4)

地区名	甲浦地区他2地区	面積	7.1ha	区域	カンノウラ 甲浦地区
-----	----------	----	-------	----	---------------



(令和4年4月1日現在)
 人口 1,248人
 世帯数 709世帯

津波避難路 L=825m	3箇所	
--------------	-----	--

津波避難路一覧	事業費 (百万円)	事業量L(m)
甲浦西4-2避難路①	4	31
甲浦西4-2避難路②	15	200
甲浦西4-2避難路③	5	50
合計	24	281

完成イメージ



(様式6) 現況図 等(3/4)



(様式6) 現況図 等(4/4)

地区名	甲浦地区他2地区	面積	7.0ha	区域	野根地区						
<p>(令和4年4月1日現在) 人口 838人 世帯数 569世帯</p> <table border="1" data-bbox="1574 568 2087 662"> <tr> <td>ヘリポート</td> <td>1カ所</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>防災備蓄倉庫</td> <td>1カ所</td> <td>●</td> </tr> </table>						ヘリポート	1カ所	●	防災備蓄倉庫	1カ所	●
ヘリポート	1カ所	●									
防災備蓄倉庫	1カ所	●									
<p>完成イメージ</p> <div data-bbox="1615 983 1906 1201"> </div> <p data-bbox="1697 1206 1888 1254">ヘリポート</p> <div data-bbox="1608 1257 1933 1476"> </div> <p data-bbox="1704 1481 1899 1528">防災備蓄倉庫</p>											

(様式6) 現況図等(ゼロプログラム)(1/1)

